



◆月刊

LIAJメールマガジン



第236号

家畜改良事業団発行

<http://liaj.lin.gr.jp/>

2021/11/19

いつも当団メールマガジンをご覧いただきありがとうございます。やっと新型コロナも落ち着きを見せています。ほっとする一方で、マスク、手洗いなど相応の予防策は続けるのかなと思っています。皆さまもご安全にお過ごしいただければ幸いです。では、11月号をお届けいたしますのでご覧ください。

種|雄|牛|情|報|



◇JP2H58027 NLBC マウリツツ トムバツク◇
BLF CVF BYF CDF

トムバツクは「J-Sireプロジェクト」により作出され、2021-8月評価にてNTP第15位で選抜されました。J-Sireプロジェクトとは、酪農家をはじめ、改良協議会、検定組合、人工授精師協会や酪農協等の指導機関といったわが国の酪農・乳牛改良に関連する多くの組織・関係者が参画し、(独)家畜改良センターが蓄積保有する遺伝資源を利用して、「国内遺伝子による優秀な検定済種雄牛を作出」する取り組みです。J-Sireプロジェクトからの選抜は4年ぶりとなり、待望の高能力種雄牛の誕生となりました。

トムバツクの母は輸入受精卵由来で他にも優秀な雌牛や候補種雄牛を作出しています。この母とマウイとの交配で作られたのがトムバツクです。トムバツクの特徴は生産能力の高さです。特に乳量、乳成分、乳用強健性の改良力の高さにより抜群の収益性を発揮します。加えて、後乳房が高く付着の良い乳器と理想的な蹄の角度を持つ肢蹄は生涯生産性に優れた種雄牛と言えます。管理面では、サイズは中程度で安産、在群能力も高く、穏やかな性格で娘牛受胎率・空胎日数から管理しやすく繁殖形質も良いと言えます。

トムバツクはJ-Sireプロジェクトから作出され、抜群の生産能力と機能的な体型、管理のしやすさから経済効果に期待の種雄牛です。

http://liaj.lin.gr.jp/uploads/R0311_JP2H58027.pdf

◆気高系種雄牛最高峰 P黒876秋忠平◆

10月29日付け発行のメルマガ臨時増刊号にて紹介しましたが、令和3年度全国肉用牛枝肉共励会で、秋忠平の交雑種産子が第1部(乳牛去勢及び交雑去勢牛)において最優秀賞に輝きました。秋忠平はG育種価で特に、枝肉重量(第5位)、ロース芯面積(第3位)が抜群の成績であり、交雑

当団が販売する凍結体外受精卵の融解方法は、“空気中で10秒間保持した後、30～35℃の温湯中で10秒間融解”です。空気中でストローを保持する際に、ストローに風が当たったり、ストローを振りますと、ストロー内の温度が急速に上昇することで、受精卵の生存性に影響を及ぼすことが考えられています。安定した受胎率を得るためにも、ストローの融解時は、無風の建物内かストローに直接風が当たらないような場所で操作をお願いします。

牛 | 群 | 検 | 定 | 関 | 係 |

— | — | — | — | — | — | — |

◇令和3年度 お試し検定を募集中！◇

今年度も牛群検定を6カ月間無料体験できる、お試し検定を実施しています！6カ月間の検定経費を補助しますので、ぜひご利用ください！！興味のある方はお近くの牛群検定組合または事業実施主体までお問い合わせください。またご不明な点は当団でも承ります。

http://liaj.lin.gr.jp/japanese/kentei/kentei_info.html

◇牛群検定通信（検定成績表の裏面）を更新しました◇

No. 139 令和3年11月号 記事

繁殖改善のために最初に確認するものは、空胎日数です。検定成績表の中段やや右に表示されています。この一年間の種付け状況を把握して、145日以上の割合を減らすことが重要です。

<http://liaj.lin.gr.jp/uploads/gyukentusin139.pdf>

◇増刊牛群検定通信を更新しました◇

増刊牛群検定通信 No. 130 令和3年11月号 主な記事

BHB（ケトン）情報を乳成分速報に掲載開始しました！繁殖台帳Webシステムで見られます！BHBの値が高めになっていないかチェックしましょう。

<http://liaj.lin.gr.jp/uploads/zoukan130.pdf>

遺 | 伝 | 子 | の | は | な | し |

— | — | — | — | — | — | — |

◆豚リアノジン受容体1（RYR1）検査の活用例◆

ムレ肉の発生に関わるRYR1検査は、全国の養豚会社で以下のように活用されています。

- ・種豚導入時やその後の繁殖豚生産の段階で検査し、異常遺伝子を持つ個体を淘汰することでムレ肉になる肥育豚が生産されないようにします。
- ・止め雄のみを検査し、異常遺伝子を持たない個体のみを止め雄として使

用することで経済的損失のリスクを減らします。

このようにムレ肉の発生を防ぎ、生産成績の向上につなげるためのRYR1検査を是非ご活用ください。

http://liaj.or.jp/giken/pig_gntyp_disease_ryr1.html

※お問い合わせは、遺伝検査部まで (Tel: 027-269-2441)

肉 | 牛 | ト | ピ | ッ | ク | ス |

◆最近の国産牛肉の消費動向と枝肉相場について◆

最近の情勢（9、10月）について報告します。

【生産量】①9月のと畜頭数前年比は、和牛98.4%、交雑101.1%と和牛は前年比減、交雑は前年比増でした。②10月は、農場での在庫頭数減を反映し和牛・乳牛交雑とも前年比減（それぞれ速報94.1%、95.4%）の生産量でした。

【消費量】①9月家計消費（牛肉）は、前年対比は金額99.4%、数量104.7%と金額前年微減、数量増、②9月小売り売上（牛肉）は外出自粛による内食潜在需要あるも売上まちまち（輸入は相場高で低調、国産は好調）、③9月外食焼肉はまん延防止の下、前年比70.4%と依然として前年比大幅減でした。

【牛肉輸出量】9月も絶好調でした。全体の金額は51億8,158万円（前年同月比175%）で数量740t（同147%）でした。輸出量が多い（輸出計に占める割合）のはカンボア34%、香港17%、米国15%、台湾13%でした。なかでも数量伸長著しいのは、カンボジア（前年同月比317%）でした（財務省貿易統計）。

【枝肉相場（東京）】10月は高相場も、コロナ感染減少傾向、輸出堅調、品薄等でもちあいでした。和牛去勢では、税抜きの加重平均価格でA5（2,449円/kg、前月比99.1%、前年比100.4%）、A4（2,147円/kg、前月比100.3%、前年比99.4%）、A3（1,958円/kg、前月比101.8%、前年比99.2%）、A2（1,642円/kg、前月比102.5%、前年比92.7%）となっています（食肉流通統計）。主な相場影響要因は（プラス）：輸出好調、鍋物相場の始まり、（マイナス）：風水害、昨年巣籠り需要の反動、気温温暖化等です。

【11月の見通し】季節要因で鍋物シーズンの始まり相場は上向きつつあるものの、気温推移や風水害の影響如何です。生産量も農場在庫頭減少により10月は落込みました（和牛計の前年比94.5%）、alicによると10月も前年比で下回るも11月はわずかに下回る（下方修正）と予想されることから、さまざまな要因（プラス：輸出好調、飲食業のコロナ規制緩和、鍋物相場、気温冷涼、風水害少、マイナス：気温高温、コロナ禍で所得低迷による需要減退、風水害多）を睨んだもちあい相場展開と考えられます。

（富谷）

事 | 業 | 関 | 係 |



◇2021後検(前期)調整交配(乳牛)◇

2021後検(前期)の調整交配が始まっています。2021後検(前期)の調整交配期間は11月～2月までとなります。期間内での交配をお願いいたします。

◆30現検(前期)枝肉調査終了！(肉牛)◆

30年度前期候補種雄牛の現場後代検定調査牛のすべての枝肉調査が終了しました。このあと、枝肉成績の入手・集計を行います。種雄牛別の枝肉成績については、ホームページに掲載しています。

http://liaj.lin.gr.jp/uploads/n30-1f_gaiyo.pdf

◆R02現検(前期)検定調査牛導入まもなく終了！(肉牛)◆

令和2年度前期候補種雄牛の現場後代検定調査牛について、各肥育委託農家等への導入が11月25日に終了する予定です。関係者の皆様におかれましては、検定調査牛の個体確認等ご協力の程よろしくをお願いいたします。

◆R02現検(後期)検定調査牛(肉牛)◆

令和2年度後期候補種雄牛の現場後代検定調査牛はおおむね令和3年7～9月に生産されました。関係者の皆様におかれましては、検定調査牛の日齢に見合った発育をするよう良好な哺育・育成管理をよろしくをお願いいたします。また、雄子牛の去勢は、生後4カ月齢までに確実に実施するようよろしくをお願いいたします。併せて、遺伝子型検査(親子判定)は購買までに確実に実施するようよろしくをお願いいたします。

(令和2年度後期候補種雄牛名簿)

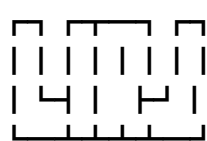
http://liaj.lin.gr.jp/uploads/nr02-2r_sire.pdf

◆R03現検(後期)調整交配実施中！(肉牛)◆

令和3年度後期候補種雄牛15頭の調整交配期間は12月14日までです。関係者の皆様におかれましては、調整交配協力雌牛全頭への交配をよろしくをお願いいたします。

(令和3年度後期候補種雄牛名簿)

http://liaj.lin.gr.jp/uploads/nr03-2r_sire.pdf



発行元:一般社団法人 家畜改良事業団

サイト:<<http://liaj.lin.gr.jp/>>

メール:<webmaster@liaj.or.jp>

電話(代表):03-5621-8911

★万一、当メールがご迷惑をおかけしている場合や連絡先等の変更などが

ある場合は、大変お手数ですが折り返し下記アドレスまでご連絡ください。webmaster@liaj.or.jp

★当団のメールマガジンはスマートフォンへの配信も行っています。
ご希望の方は、上記アドレスまでご連絡ください。

★このメールマガジンにはファイルは添付されていません。